

現場突撃型ローカルマガジン

なかがた ものい がた 1



“ライティング・コミュニケーター”
南加茂台に現れる。

ここは、木津川市・南加茂台。



木津川市は、京都府の最南端に位置するまちです。奈良時代には一時的に都・恭仁京(くにきょう)が置かれた歴史があり、今も名残が地名に残っています。一方で、新しいまちづくりも進み、古いものと新しいものが調和する場所でもあります。

その木津川市の南東部にあるのが、南加茂台(ながもだい)です。昭和54年から開発されたニュータウンで、これ

までの約45年間に多くの人が移り住み、現在は約5千人が暮らしています。高齢化が進みつつあるなかでも、公民館では講座やサークル活動がおこなわれ、地域の中にゆるやかなつながりが続いています。私たち地域おこし協力隊は、この南加茂台を拠点に、地域に寄り添いながら暮らしの魅力を伝える「ライティング・コミュニケーション」の活動をおこなっています。南加茂台に暮らす人々や日々の出来事に目を向け、取材や交流を通して、このまちならではの「物語」を言葉で届ける役割を担っています。

この情報誌「ながものがたり」という名前には、「南加茂台(ながもだい)」で暮らす人たちの「物語(ものがたり)」を、取材や交流を通して丁寧に言葉に込めています。団地の内と外にも届けたい小さなメッセージとして、一人ひとりの声や風景が、誰かの心にと響くことを願っています。

地域おこし協力隊の
とあるいちにち
ながもだいです。

8:30 公民館へ出勤・予定確認

9:00 Instagramの投稿編集

10:00 公民館のサークル活動取材

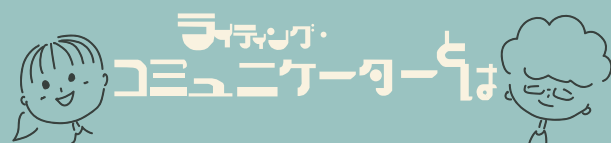
12:00 お昼休憩

13:30 「ながものがたり」の打ち合わせ

15:00 「ながものがたり」編集作業

17:00 退勤

リラックスタイム



私たちは、南加茂台公民館を拠点に活動しています。地域の行事に参加したり、日々の出来事を一緒に体験したりしながら、まちの魅力を言葉や写真で伝えています。ただ取材するだけでなく、地域の一員として関わること。それが、私たちの役目です。



畑で楽器の演奏をしました。自然の中で奏でる音はいつもと違う心地よさがありました。



南加茂台小学校での田植え体験に参加しました。田んぼのある地域でしか味わえない貴重な時間を過ごしました。



ゆるやかな坂道を下ると、
遠くで竹林のざわめく音が耳に届く。

「ここを曲がれば、もうすぐかな」

鳥のさえずりと風に揺れる木々の音が、

静かな朝に響いている。

南加茂台のまち並みの先、

緑に囲まれた静かな場所で

今日もいつもの朝が訪れようとしている。



03 / ものづくりに生きる、南加茂台で見つけた僕の時間

05 / 南加茂台の朝、当尾のラジオ体操へ

ものづくりで生きる

南加茂台で見つけた僕の時間



作品が上手で毎日
そうでは、日もニッ来いお
誰かと笑って帰る
浅尾



南加茂台在住
浅尾さん

Born

加古川市



南加茂台

Based

「こんにちは！」

工房の玄関先で手を振る浅尾さんたちの笑顔に迎えられると、まるで親戚の家に遊びにきたようなそんな懐かしさを感じさせてくれる。

「このまちで、本当にいいのだろうか？」

兵庫県加古川市で生まれ育った僕は、昭和の終わり頃に南加茂台に移り住んだ。労働者住宅生活協同組合が開発した新興住宅地に、紹介を受けて応募したのがきっかけだった。南加茂台は、同じような年齢層や家族構成の人たちが集まる場所だった。

「みんなが同じように逆に大丈夫かな」と不安を感じていた。小学校の教室は児童で溢れ、教室が足りなくなった。グラウンドにはプレハブ教室が並んだ。

顔も知らない隣人たち

僕は大阪の会社に通い、毎朝6時過ぎの電車で揺られて出勤し、夜9時を過ぎて帰宅する生活を続けていた。家は寝るための場所。近所付き合いななんてものはほとんどなく、子育ても自治会の活動もすべて妻に任せていた。

「このままではいけない」と思うことはあったが、仕事中心の暮らしは変わらなかった。

駅へ向かう足を止めることもなく、今日もまた、隣人の名前を知らないまま時間だけが過ぎていった。

自由自在になったはずの時間のギャップ

仕事をリタイアし、自由の身となった。山登りや旅行、四国遍路に挑戦し、ずっと夢見ていたことを次々と叶えていった。しかし、あれほどやりたいと思っていたのにどこか心は満たされない。僕は、ふと思った。

「個人的な欲求では、第二の人生を楽しむことはできないんだ。今僕が住んでいる地元のことを知らなければ意味がないんだ」。その気づきが僕の価値観を一変させた。



竹がつないだ新たな道

ある日、地域の文化祭で竹工房の展示を目にした。僕は「これだ!」と思い、その場で入会を申し込んだ。当初は竹林の間伐ボランティアから始まった活動だが、間伐材を使った竹細工を独学で学んだ。

自己表現の場所

竹を編むうちの7割以上は、ヒゴを作る時間。竹はまっすぐ伸びているように見えても節の部分で曲がっている。それぞれのヒゴには癖があり、その癖を見極めながら編むのが楽しい。そして、道具は竹割なたとノコギリしか使わない。この作品を使ってもらう人のことを想像しながら、手作りにこだわる。僕が通う工房では、見学会や体験会をしている。「こゝ、楽しそうだな」と誰かがふらっと立ち寄ることが、僕の何よりの喜びだ。

僕のもう一つの楽しみは、40数年ぶりに再開したフォークギター。仲間と教室に通い、工房のログハウスで自主練習を

する。2年前から教室の生徒と「竹とんぼ」というバンドを結成し、年に数回地域の文化祭や高齢者施設を訪問し、竹と音楽の二刀流を楽しむ。僕にとっての生きがいは、誰かとつながり、自分を表現すること。現役時代には味わえなかった、穏やかで豊かな時間が、今ここにある。



竹工房の
休日

日記



工房で竹細工を体験した。穏やかな笑顔の浅尾さんと話しながら竹を編み始めると、規則的な動きに没頭できそう。竹は細く折れそうに見えるけど、思った以上に丈夫。不器用な私の手でも、少しずつ竹が形を変えていくのがわかる。そのとき浅尾さんがものづくりを通じて大切にしているものを、ほんの少しだけ理解できた気がした。

南加茂台の朝、当尾のラジオ体操へ

カーテンを開けると、窓の向こうにはやわらかな朝の光が差し込んでいた。

今日は南加茂台に住むともさんと、そのご主人と一緒に、当尾でおこなわれているラジオ体操に参加する日。眠い目をこすりながら外に出ると、朝の空気が思いのほか澄んでいて、気持ち少しシャキッとします。ともさんの家の前に着くと、笑顔で「おはよう！」と迎えてくださったその表情は、すでに元気そのもの。ともさんの一日は、ここから始まる。

緑の道と、ちいさな寄り道

ともさん夫妻が毎朝歩くのは、往復で1時間半にもなる散歩道。「寄り道ばかりしているからね」と笑うともさんの言葉通り、道中には見どころがいっぱい。蠟梅や木蓮の木があり、川が流れる音ができる。見上げれば、木々の間から朝の光がこぼれている。「この犬よくなついてかわいいんだよ」犬好きのともさんは、馴染みのワンちゃんたちにあいさつを忘れない。猫にも声をかけ、

ご主人は静かにその様子を見守る。おふたりのやわらかな空気が、道のりをあたたく包んでいた。

まず、広場で、深呼吸

たどり着いた当尾の郷会館には、すでに何人かが集まっていた。

「おはようございます」の声が、自然にあちこちから聞こえてくる。

それだけで、今日もいい一日が始まりそうな気がしてくる。

ラジオ体操のカードにスタンプを押し、

合図の音楽が流れると、ゆったりと体操が始まり体をほぐしていく。

ともさんと一緒に。

ご褒美と、暮らしのリズム

帰り道、ふと立ち止まってあたりを見回すと、道のあちこちにぼつぼつと吊り店があり、都会では見ないその光景は、どこかのんびりとしていて、散歩の景色にぴったり寄り添っている。「こらへんご褒美が多いから歩くのが楽しみなんだよね」ともさんはそう言って笑顔でほほえみ、気になるお店をのぞいたり、犬を飼っているお宅にお邪魔して会話を交わしたり、小さな楽しみが散歩のモチベーションになっている。たしかに、このまちには暮らしのすぐそばにご褒美がある。吊り店が点在し、田んぼがゆったりと広がり、自然がそっと息づいている。日常と日常のあいだに置かれた、小さなリズムのようなもの。鶏を飼っているお宅では、生みたての卵をいただいた。こんな光景とても素敵だ。

ともさんはこどもも大好きで、放課後に小学校でボランティア活動もしているという。さらに、毎週木曜日には公民館でのピンポンサークルに参加。地域とつながる時間を大切にしながら、自分の「好き」も丁寧に続けている。そんなともさんをそっと支えるご主人の存在も、あたたかな散歩道の一部。



当尾の郷 ラジオ体操

8時30分～

月曜日・祝日・年末年始を除いて毎日実施

当尾の郷会館※

旧当尾小学校を活用した地域交流施設。会議室や体育館などがある。毎月第1・3日曜日には「当尾の郷まつり」が開かれ、地域の人と自然に交流できる場になっている。

〒619-1131
木津川市加茂町下垣外16番地
TEL 0774-76-2234



このまちの朝には、確かな豊かさがあった。朝は少し違う雰囲気。日常を日中より感じられる朝。今日から私も、朝の時間をちょっとだけ大切にしてみようと思う。

ここは、やさしい風が吹き抜ける丘のまち「南加茂台」。
坂道の先には、のんびりとした時間と、
みんなの笑顔が広がっています。

南加茂って
どんなまち？



Shop list

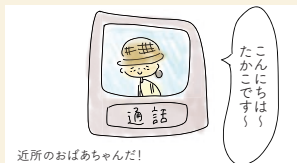
- ①ころばん塾・ワズホームフィジカルセンター ②ワズホームアクティブセンター・ケアセンター ③ブックスなかつ
④理容シンナカ ⑤フローリストハマダ ⑥山城ガスセンター いづつや ⑦新築・リフォーム(株)マージュ
⑧(株)セイキョウホーム住宅相談センター ⑨ショップむらた(たばこ屋) ⑩コトブキ(花屋)
⑪はんなり弁当 ⑫5丁目パン屋 Pono ⑬大和屋クリーニング ⑭株式会社 都らいぶ アビック



ちよとのぞい

4まんか

野菜急便



編集後記

4月から公民館での活動が始まり、南加茂台のみなさんと関わる機会が一気に増えました。写真は、公民館で活動されている地域の方々との集合写真です。地域の方々の明るさや行動力にふれる中でその元気に毎日刺激を受けています。一方で、どうすれば南加茂台の魅力をうまく伝えられるか悩むこともありました。そんなときにデザイン面で支えてくださったのが、「木津川クリエイター部」のみなさんです。いただいたアドバイスや工夫のおかげで、表現の幅がぐっと広がりました。これからも、地域の魅力を伝える活動を楽しみながら続けていけたらと思います。

栗本

「公式」Instagramで
日々の活動を
投稿中!

